

## 変えよう鎌ヶ谷！市民が主役 市政報告

鎌ヶ谷市議会議員

## 岩波はつみ

発行日 2016.04.20 No.27

発行者 鎌ヶ谷市議会無所属の会

## ■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F

電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790

メール kamagaya@iwanamihatsumi.com

活動ブログ <http://iwanamihatsumi.com>

三月定例議会を終えて  
東初富テニスコート面がツギハギ補修により高さが変わり危険なので早急な張替と、利用者が多いので三面を四面に増やし、眩しくない方向に90度変更すよう求める陳情が提出された。「土地幅が1m足りない、方向は現在の方が眩しくない。危険という苦情はない。」という職員答弁を鵜呑みし、議員は陳情を否決した。図面では土地幅37mあり、日本テニス協会の設置基準より1m以上余裕がある。幅は足りる。四面は実現できる。



## 実態調査にご協力ください。裏面に調査票あります。

## ①高齢、障がい投票所までの行き来に困難を感じる皆さんへ

先の3月議会にて、投票所と自宅を結ぶドアツードアの送迎巡回サービスを提供したらどうかと質問したところ、その必要がある方がいらっしゃることはわかるとの答弁を得た。しかし、どの程度必要な方がいて、どの程度の体制を用意しなければならないか見当がつかないので、研究課題としたいとの答弁を得た。仮にタクシーを借り上げた場合、一日一台5時間借り上げで3万円。10台借り上げたら30万円。名簿さえあれば、乗り合い型で巡回送迎できることをタクシー会社には確認済み。なら、調査をして欲しいと再度求めたが、対象となる市民の条件が絞れないのでできないとの答弁あり。そうですか・・・では自分で調べます、ということで、今回の通信の裏面に調査票をつけておりますので、無記名ですから、皆様の必要性把握にご協力ください。裏面をご覧ください。

## ②保育園の送迎に困難を感じている方、

## 一時的保育の必要を感じている皆さんへ

先の市議会議員選挙において、私は「全力で取り組みます」公約を示している。①の投票所への足の確保もそう。②の送迎保育、一時保育もそう。最近、2人のお子さんがなんと別々な保育園に措置されてしまい、早朝の忙しい時間に2カ所、しかも自転車で連れていくことはほとんど困難ということで、頭を抱えていらっしゃる若いお母様と話す機会があった。第三者としては送迎のお手伝い程度の協力はできるにしても、本来は祖父母が果たすような役割を、祖父母でなくとも果たせるような周囲の実質的支援が必要である。送迎の他、母親が自分の用事で出かける、急用で迎えが間に合わない、親自身の病気など際の一時短時間保育は子育てには不可欠である。

## 皆さんの実態をお知らせください。裏面に調査票あります。

## ③一人一役…地域課題を事業化する「市民協働」のあるべき姿

市内で活動する100近い市民活動団体の調査結果を見ると、9割近くが有給スタッフなし、7割が年間30万円未満の事業高団体。非営利組織が各地で自治体と協働事業している中、我が鎌ヶ谷市の団体は、いわゆる無償ボランティア団体という状況のままにある。3月議会にて質問に取り上げた。市民協働の方法を役所各課は理解できないのではないかと尋ねた。各課事業をまずは団体事業高程度の小さな事業に切り出して、募集をかけて契約して実行してもらうこと、その積み重ねが協働だ。一億総活躍というのであれば、求める水準の仕事の有償で市民に提示することから始めたらどうか。「自らの働きが金銭で評価される」こんな励みになることはない。有償ボランティアは自己満足では務まらない。相手が求めることを提供するからだ。これを自立といわず、何が自立か。

## ④調整区域の土地開発は「地区計画制度」を使って実行できる

鎌ヶ谷市の地図を見ると、新鎌ヶ谷駅西部から北初富駅にかけて、ぽっかりと建物のない空白地帯が入り込んでいる。市街化調整区域といい、建物等が建てられない、農業や、病院や福祉施設等しか使えない制限された区域である。鎌ヶ谷市の全面積の半分はこの調整区域である。

今後10年間の市の計画の中には、新鎌ヶ谷から北初富駅周辺の市街化を進める記述はない。誰が見ても首をかしげたくなる。一方でかつての新鎌ヶ谷駅周辺の開発のような大きな投資ができる環境はなくなった。一人一人の地主さんの抱える条件も違おうであろう。このような条件下で、一定面積から開発が実行できる「地区計画制度」という手法がある。マスタープランに位置づけるよう議会で提案しているが、市長はあまり関心がない様だ。

## ⑤造れぬ計画道路計画を止め、時計を動かせ！

『初富交差点の右折実現へ』私の公約の一つである。できない理由は何か？繰り返し議会質問や住民陳情として取り上げられる中で、ようやくわかってきたことがある。交差点に手を付けられない根本原因は、交差点から初富駅を突っ切り南初富に延びる予定の道路計画が邪魔しているのだ。新たな道路を造り、既存道路交差点は使わなくなるという夢物語だ。実現見込みのない都市計画道路計画の廃止は、県内各地ですでに始まっている。廃止判断が遅れるだけ対策の時計が止まり、逆に余計な対応をすることになる。止まった時計を動かすべきだ。



岩波 初美 (イワナミ ハツミ) 経歴

■ 1959年(昭和34年)山梨県生まれ

■ 夫・夫の母・子ども3人・孫2人

■ 千葉大学教育学部卒業

■ 1991～1999年 鎌ヶ谷市議会議員2期8年務める。2010年と2014年7月、鎌ヶ谷市長選挙に立候補、12000票をいただくが及ばず。

■ 現在 鎌ヶ谷市議会議員4期目、NPO理事、千葉工業大学特別講義講師、アクアライン800円実現化協議会運営委員、印旛・手賀沼環境あつぎ協議会代表、ぐるっ都地球温暖化対策地域協議会監事、地域主権型道州制南関東政治家連盟代表、知的障がい者生活支援グループホーム非常勤スタッフ。

■ 2015年春より35年ぶり学生となり、大学院にて行政施策と効果の関係性を研究する。